



陽気だより

昭和40年8月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で67年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

私の見た天理教

倉田百三と天理教教祖

——天理教の内実には宿る不滅の生命力について語る——

戸田義雄

(昭和四十年当時、国学院大学教授・文学博士)

意外な削除

アフリカの聖者といわれるアルベルト・シュヴァイツァー博士の自叙伝は、戦前『わが生涯と思想より』と題し、翻訳されて世に出た。私の手元にあるのは、戦前版である。彼はいつたい、いかなる動機で、単身、医師としてジャングルの中におもむこうとしたのか。そのへんの事情が明らかにされれば面白いと思っ

た読んでみた。事情は次の通りである。彼は若くして将来を嘱目される神学徒であった。ある初夏の朝、この自分の身にうけた幸福を自明のものとして

伝中、最大の山場であり、白眉といっても過言ではないと信じてきた。ところが戦後、学生諸君にこの本を薦めた時、学生たちが手に入れた戦後版には、肝心のこの箇所が削除されている。おや、おかしなこともあるものだと思っただ、やはりそうだった。

まだ、占領下の思想統制下にあったから、キリスト教第一主義の思想政策上、芳しからぬ資料というので、削除の命を受けたものか、それとも出版社の方で、先走って気を回したもののか、事情はよくわからない。

実は、これと同じことが、倉田百三著『絶対的生活』についてあるのである。

絶対的生活

大正十年、『愛と認識との出発』で、はなばなしく評論界にデビューした著者が、昭和五年に世に出した五番目の評論集であった。

この『絶対的生活』は、他者を傷つけず、孤立して敬謙に生きる消極的な従来の宗教生活から「転身」し、「脱皮」して、積極的な宗教生活を展開した記念碑的著作である。

それまでの倉田百三は、真摯な思想家ではあったが、生者ではなかった。したがって、神を、思索と観照によって見出し、悟性の論理による反省過多に陥っていた。

彼は、こうした状況の自己を「強迫観念」に苦しむものと呼んでいる。強迫観念(俗に世間で言う強度の神経衰弱)に悩んだ彼にとっての救いは「神意を反省して知り、その知った通りに神意に生きよう」としたのであった。しかし、これでは、ますます思索と反省の過剰に陥って、強迫観念からは救われない。ところが、彼は自分の行き方が逆であると気付くに至った。

「神の力が自分を動かして、その動きの中で反省すればいい」(『絶対的生活』中「後ろを見る眼」)

神の動きの中で、あるがままに思い、ふるまう、そう気付いた時、強迫観念は、治まるともなく治まっていた。こうして至りついた境地を、彼は「絶対的生活」と呼んだ。

倉田百三と教祖の出会い

彼がここに至るのに、あず

月刊『陽気』
定期購読受付中

お知らせ

お 店まで買いに行くのが大変。
忙しくて購入するのを忘れた。
定期購読はそんな手間を省きます。
毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。
(例：2月号は1月20日)

定期購読料金

1年分…3,420円(送料込)

半年分…1,710円(送料込)

陽気
2月号

特集
心の病のおたすけ
連載
◎天理青年世界一周
◎人権：“人として”生きている

購読に関する問合せ先
☎0120-920-398 養徳社業務部窓口

かつて力があつたものは、一つには、武者小路実篤氏らの新しき村の運動との接触、第二には、天理教教祖の「みかぐらうた」であつた。彼は、これらによって、自己の生命を自由に生かす道を悟るに至つたのである。

私が持っていた初版本『絶対的生活』は、黒い布製の美しい装丁であつた。その一章「みかぐらうたを読んで」は、倉田百三と教祖の「言霊」の出会いとして印象深いものがある。

実は、私の教え子の女の子が強迫観念に苦しんでおり、特にこの本を貸してやったが、そのまま本を持って行つたきり消息が絶えてない。

このたび養徳社から、この稿の執筆を求められた時、戦

後、角川文庫本として再刊されておることだから、もう一度読み直して、その印象をまとめることにしよう、と思つて承諾した次第であつた。ところが、昭和二十七年に角川書店から再刊された文庫版は、今は品切れで、どこにもない。やつと神田の古本屋で捜しあてたら、なんと、肝心の「みかぐらうたを読んで」の章が削除されていて、ないではないか。

おまけに、文庫版の解説欄に、その間の事情がなにも書かれていない。これには、シユヴァイツァーの自伝の時と同様、まったく驚いてしまつた。

文庫版のごとくならば、なにをなかだちとして、長年、苦しみにぬいた「強迫観念」が

解消し、絶対的生活に至りつくことができたか、説明が本当はつかない。真の事情は、読者の前に明らかにされずじまいである。そう思うと、とても残念でならぬのである。

一出版社が、特定宗教のお先棒をかつぐようになるのを恐れたとでも言うのだろうか。

われわれの青年時代は、「もの思うこと」を、倉田百三の『愛と認識との出発』の読書から始めたものであつた。この著者に、決定的な影響を与えた天理教教祖。この出会いから、いつも私は天理教の内実に対する印象を語るのである。「生きたことば」とことばの結びつき」によって語る事が大切であつて、単なる印象批評は慎むべきだというのが私の持論であるからである。

養徳社営業予定
赤字は休業日

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	おつとめ (1日～15日) 朝7:00 夕5:30 (16日～29日) 朝6:45 夕5:45				

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
おつとめ (1日～15日) 朝6:30 夕6:00 (16日～31日) 朝6:15 夕6:30						

養徳社の一押し書籍

待望の書籍化 1月26日発刊

助産師が描く奇跡の現場 神の働き

目黒和加子 著

出産

助産師の祈り

目黒和加子

定価=900円+税 送料200円

好評 においがけに最適。 おびや許しをいただく方に。

マンガ おびや許し

マンガ おびや許し

定価=200円+税 送料65円

※書籍のご注文は、下記〈書籍・陽気のご購入方法について〉をご覧ください。
2冊以上のご注文は送料が異なりますので、養徳社業務部までお問い合わせください。

Facebook で最新情報をチェック! <https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

<書籍・陽気のご購入方法について>前払いをお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号 00990-3-17694番 加入者名 (株)養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社業務部